

としょかん つうしん

1月号

1月号のテーマは「行事」です。一年の間にはいろいろな行事がありますね。

1月はお正月、2月には豆まき、3月にはひなまつりなど、みなさんは何が楽しみですか？



「おたんじょうび おめでとう！」

年少向け

パット＝ハッチンス作 渡辺重雄訳
偕成社

今日はサムくんの誕生日。ひとつ大きくなったので、なんでも自分でやりたかったのですが、部屋のスイッチや、洋服タンスの服に手がとどきません。お父さんとお母さんはサムくんにボートをプレゼントしました。でも、流しに手がとどかないのでボートを浮かべて遊ぶこともできません。そんなサムくんのところにおじいちゃんからすてきなプレゼントが届きました。なんとサムくんのできなかったことができるようになって・・・。



「おにたのぼうし」

年中向け

あまんきみこ・ぶん いわさきちひろ・え
ポプラ社

はずかしがりやで気のいい黒おにの子おにたは、節分の夜、どの家からも豆まきをする音がして、行くところがありません。そこで、おにたはつのかくす古いむぎわらぼうしをかぶって、まちを歩いていました。すると豆のにおいのしない家を見つけました。その家には女の子がおかあさんと住んでいますが、とても貧しく、おかあさんは病気でした。天井から様子を見ていたおにたは、女の子を喜ばせようとあることを考えました。おにたの女の子を思いやる気持ちが文からも絵からも伝わってくるようです。



「十二支のはじまり」

年長向け

谷真介文 赤坂三好絵
佼成出版社

中国に伝わる十二支のおはなしです。神さまが正月の朝、動物たちに「新年のあいさつに御殿に来なさい。一番早く来たものから順に十二番目まで、1年間づつ王様にしてやろう」といいました。いよいよ新しい年がやってきました。うしは歩くのがおそいので、暗いうちにおきて家をでました。それを見ていたねずみはうしの背中に飛び乗りました。御殿の門が開かれると、ねずみはうしの背中から飛び降りて一番乗りに……。こうしてねずみが1番、うしが2番になりました。十二支の動物と順番がどのように選ばれたのかが楽しく語られています。